

ONE23

東京23区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」

2013
WINTER
Vol.11

東京23区の 郷土資料館・歴史館をご紹介します!

- 「歩く」大田区 歴史ある街と梅を愛でる散策コース
- 「知る」『所蔵資料』蔵出し - 『東京五拾区縮図』その3 -
- 「学ぶ」OU講座紹介、北区文化施設魅力紹介展示
- 「食べる」ネギマ鍋ってどんな鍋?
- 「触れる」北区、台東区、目黒区の見学・体験施設紹介



東京23区の
郷土資料館・
歴史館等の
文化施設を
ご紹介!



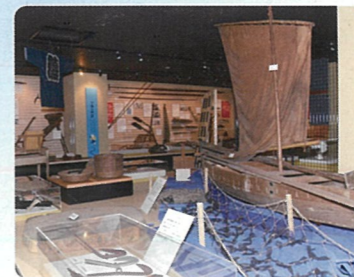
足立区：足立区立郷土博物館
「あだちの古文書大研究」(1月12日～3月3日)、「幕末・明治の千住の美術」(3月23日～5月6日)を開催します。



荒川区：荒川区立ふるさと文化館
郷土の歴史、文化を楽しみながら学び探求する施設。昭和41年頃の復元家屋も展示しています。



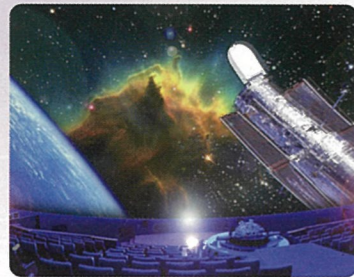
板橋区：板橋区立郷土資料館
板橋の歴史を映像や模型などで紹介する常設展、企画展を開催。中庭には、茅葺の古民家もあります。



江戸川区：江戸川区郷土資料室
区の歩みが分かる常設展示や企画展の実施、郷土の歴史などの情報提供を行っています。



大田区：大田区立郷土博物館
大田区を中心とした考古、歴史、民俗資料などの文化遺産を保管・展示しています。



葛飾区：葛飾区郷土と天文の博物館
郷土かつしかの移り変わりやプラネタリウムによる宇宙体験を一度に楽しめる博物館です!



北区：北区飛鳥山博物館
北区の歴史を体感できる博物館。地域の自然や歴史についてテーマごとに常設展示を行っています。



江東区：深川江戸資料館
江戸時代の深川佐賀町を実物大で想定復元。月見、正月など年中行事の再現展示も行っています。



品川区：品川歴史館
品川の史料保存・展示の他、茶室や庭園があり茶道等の伝統的文化活動に利用できます。



渋谷区：白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
渋谷ゆかりの文学者や郷土資料を紹介する常設展のほか企画展や講座等を行っています。



新宿区：新宿区立 新宿歴史博物館
昭和初期の展示では、急速に発展した新宿駅周辺の風俗や娯楽、人々の生活を紹介します。



杉並区：杉並区立郷土博物館
園内の江戸時代中期の古民家では、土日祝日の午後には囲炉裏に火を入れ、至福の時間を提供しています。



墨田区：墨田区立すみだ郷土文化資料館
墨田区郷土の歴史を区民ボランティア解説で楽しんでみませんか! (1ヶ月前の要予約)



世田谷区：世田谷区立郷土資料館
23区では区立として最初の登録博物館で、区の歴史と文化を常設・企画展示で紹介しています。



台東区：台東区立中央図書館
郷土・資料調査室(台東区生涯学習センター内2階)
11月に浅草文庫コーナーを新設。ゆかりの文学コーナーでは、新収蔵資料企画展を、3月中旬まで開催します。



中央区：中央区立郷土天文館
「タイムドーム明石」
中央区の歴史や文化財に関する展示のほかプラネタリウムの鑑賞もできる複合施設です。



千代田区：日比谷図書文化館
(常設展示室)
環境・人間・都市をテーマに千代田の原始・古代から近代に至る歴史を実物と映像で紹介しています。



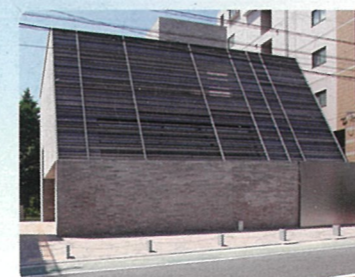
豊島区：豊島ふくろう・みみずく資料館
世界各国から収集した鳥の珍しい置物、彫刻、玩具などを展示しています。土日のみ開館。



中野区：山崎記念中野区立歴史民俗資料館
原始～現代の中野をテーマに、当時の様子をジオラマなどでわかりやすく再現しています。



練馬区：練馬区立石神井公園ふるさと文化館
平成25年1月19日～3月24日、特別展「アトムが飛んだ日」展を開催します。



文京区：文京区立森鷗外記念館
森鷗外生誕150年を記念して、鷗外ゆかりの「観潮楼」跡地に森鷗外記念館が開館しました。



港区：港区立港郷土資料館
ざわれる展示室では縄文土器やミンククジラの全身骨格などにふれることができます。



目黒区：目黒区めぐろ歴史資料館
目黒の歴史や暮らしがわかる館で、胎内展示は秀逸。3月まで〇(まる)をテーマに道具展を開催しています。

※掲載はあいうえお順です。

歩く

2013 年も晴れやかに行きましょう!

梅を愛で、格式あるお寺や縁起の良い池上七福神を巡る散歩コースをご紹介します。

大田区 池上周辺



① 池上本門寺

日蓮聖人が弘安5(1282)年10月13日に61歳で入滅された霊跡。毎年10月11～13日の3日間に日蓮聖人の遺徳を偲ぶ「お会式」が行われ30万人に及ぶ参詣者で賑わいます。



..... オススメ散歩道



② 大坊本行寺

日蓮聖人の入滅の地である池上宗仲の邸跡に建てられたもので、本門寺の旧末寺の筆頭に位置する格の高い寺です。



※梅の開花時期に撮影された写真です。

③ 池上梅園

日本画家・伊東深水の自宅兼アトリエが大田区に移管され、昭和53年に池上梅園(白梅150本・紅梅200本)としてオープン。

開園：9時～16時30分 / 休園：月曜日(2、3月除く)、年末年始
入園料：大人100円 / 電話：03-3753-1658

ちょっと寄り道しませんか

池上七福神

「池上七福神巡り」スポット紹介です。

- 厳定院 (ごんじょういん) / 弁財天
- 芸術・弁舌・才智・財宝を司る女神 -
- 本成院 (ほんじょういん) / 福祿寿
- 福と禄と寿命を授ける老人神 -
- 養源寺 (ようげんじ) / 恵比寿天
- 商業・漁業繁栄・家庭円満の福の神 -
- 妙見堂 (みょうけんどう) / 樹老人
- 長寿と学を授ける老人神 -
- 馬頭観音堂 (ばとうくわんのうどう) / 大黒天
- 米俵をふるまえる裕福の台所守護神 -
- 微妙庵 (みみょうあん) / 毘沙門天
- 威光と財宝授与の北方守護の武神 -
- 曹禅寺 (そうぜんじ) / 布袋尊
- 福德・円満・忍耐を授ける弥勒菩薩の化身神 -



養源寺の恵比寿天

冬の散歩を楽しむために!

冬は氷や雪で道が滑りやすくなっていることがしばしばあります。歩き方としては、重心はかかとにかけすぎず、つま先を意識して足の裏全体が地面と接しているような感覚がポイントです。

すり足をイメージしていただければ分かりやすいと思いますが、あまり足を上げずに歩くと地面の凹凸に足をとられる危険があるので、軽く足を上げて小さな歩幅を意識してください。

さあ、ポケットに手を入れず手袋をして出かけましょう!

知る

23区をもっと知ってもらいたい。

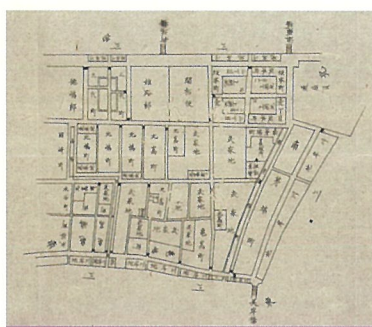
特別区自治情報・交流センターでは、統計データ、書籍をそろえて、皆さんのお越しをお待ちしています。

『所蔵資料』 蔵出し - 『東京五拾区縮図』 その3 -

明治2(1869)年に始まった五十区制では、朱引内の、982町を50番組に分け、それぞれに中添年寄を置き支配せました。平均すると一番組当たり20前後の町を持つことになるのですが、10に満たない町数の番組が六、十八、二十一、二十八、四十二、五十番組の6つあります。五十

番組の新吉原は別にして、なぜ町数が少ないのでしょうか。

今回は、そのうち『六番組南茅場町その他』『二十八番組駒込東片町その他』『四十二番組浅草南馬道町その他』を紹介すると共に、町数が少ない理由に触れてみます。



『六番組 南茅場町その他』

■『六番組 南茅場町その他』

『六番組』に描かれた地域は、現在の中央区日本橋茅場町1～3丁目一帯。当時所属した町は、南茅場町、坂本町1、2丁目、亀島町、北島町、三代町の6町。江戸時代、この辺りには小説やドラマでおなじみの町奉行の与力・同心の組屋敷がありました。

『中央区沿革図集[京橋篇](平成8年3月発行)』によると「北島町・竹島町・亀島町はすべて同心の拝屋敷で、同心はその屋敷の一部に住み、宅地の大部分は家守を通じて町人身分の者に貸し付けて、給与の一部にしていました。(中略)原則的には武家地だったわけです。」とあります。

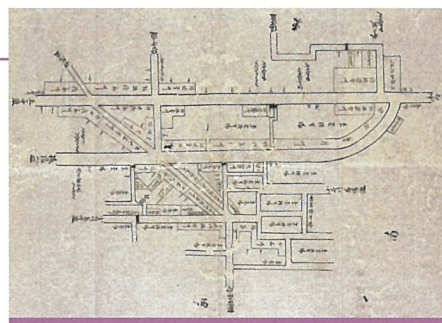
町地を支配する中添年寄が管轄していた地域は、少しの町地と町人が住みついた一部の武家地だけだったようです。

■『二十八番組駒込東片町その他』

『二十八番組』に描かれた地域は、現在の文京区本駒込1丁目、白山1、5丁目と向丘1、2丁目一帯。当時所属した町は、駒込東片町、駒込追分町、駒込肴町、小石川指谷町、白山前町、駒込浅嘉町、丸山新町の7町。この地域には現在も残っている寺社や、御先手や大御番の大縄地が数多くありました。

『文京区史巻三(昭和43年8月発行)』によると「2年(1869)11月には武家地・寺社地も東京府の管轄内に編入され、それぞれ新しく触頭ふれがしらがおかれ」とあります。

武家地や寺社地は東京府の管轄になりましたが、中添年寄の支配下にならなかったため、町地は上記の7町だけでした。



『二十八番組駒込東片町その他』



『四十二番組浅草南馬道町その他』

■『四十二番組浅草南馬道町その他』

『四十二番組』に描かれた地域は、現在の台東区浅草2丁目と花川戸1、2丁目の馬道通り沿い、浅草6丁目の一帯。当時所属した町は、浅草南馬道町、浅草南馬道新町、浅草北馬道町、浅草医生町、猿若町1～3丁目の7町と、浅草寺地中34ヶ院内町屋。この番組は四十一、四十三番組と同じく大半が浅草寺領でした。

『台東区史通史編Ⅱ(上巻)(平成14年2月発行)』によると「門前町・境内町は浅草寺領であったから、当初は寺社奉行の支配下、(中略)浅草寺門前町の町場化は(中略)かなり進行していたようであり(中略)寺社奉行から町奉行に支配替え(中略)境内町も町奉行支配に移された。」とあります。

浅草寺領の門前町等は町場化が進み中添年寄の支配下となったようですが、『四十二番組』には広大な浅草寺そのものがあり、町人の住む門前町等は少なかったようです。

本執筆に当たり、上述した資料の他に『中央区三十年史上巻(昭和55年2月発行)』、『台東区史(近代行政編)(昭和41年3月発行)』、『都史紀要五区制沿革(昭和33年3月発行)』、『東京市史稿市街編第50(平成13年2月復刻版発行)』を参考にしました。これらの資料は、特別区自治情報・交流センターで閲覧できます。

学ぶ

あなたの「学びたい」気持ちにお応えする
東京区政会館の学べるスポットをご紹介します。

首都大学東京講座

東京区政会館3階では、どなたでも学べる「首都大学東京オープンユニバーシティ（OU）」を開講しています。様々な講座から、特別区協議会との共同講座を紹介します。

特別区協議会との共同講座 申込み方法をご覧ください。

千住の歩みをふりかえる

日時	2月6日(水)14:00～15:30 2月13日(水)13:30～15:00
講師	足立区立郷土博物館専門員 山野 健一
受講料	4,900円(全2回)

足立区千住は、江戸時代のはじめに五街道である日光道中・奥州道中の最初の宿場として整備されました。
この講座では、千住宿の文化などを紹介するとともに、千住を巡りかつての宿場の様子をふりかえります。
※2月13日の集合場所は北千住マルイ10階の千住宿案内コーナー。

●申込み方法

原則、各講座開講の2週間前までにお申込みください。定員に達し次第、締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒に支払ってください。お申込み後、銀行振込・払込票・クレジット（WEB申込みの場合のみ可）のいずれかで受講料をお支払いいただいた後、「受講のご案内」をお送りします。

申込み先

首都大学東京オープンユニバーシティ窓口
TEL: 042-677-2362 (平日9時～19時)
WEB: <http://www.ou.tmu.ac.jp/>

北区文化施設魅力紹介展示

春になったら **きたくなる!**

桜と文豪の町 ◇ 王子・田端さんぽ

— 北区飛鳥山博物館・田端文士村記念館 —

王子・飛鳥山は、江戸時代から知られた遊山の地。田端には、明治・大正期を中心に文士や芸術家が集った文士村がありました。

「春」をテーマに、この二つのエリアの歴史と文化をご紹介します。

春の王子、田端の散策へお誘いします。

紹介展示スケジュール

《開催日》平成25年2月5日(火)～2月28日(木)
(日曜・祝日を除く)

《展示時間》平日9:00～20:30
土曜日9:00～17:00

《会場》東京区政会館1階 エントランスホール
※JR・東京メトロ・都営地下鉄「飯田橋」駅下車



(写真提供: 北区飛鳥山博物館・田端文士村記念館)

次回の展示は、新宿区文化施設魅力紹介展示。平成25年4月の開催を予定しています。

食べる

寒くなると食べたくなりますよね、鍋料理！
水炊き、寄せ鍋、etc… たくさん種類があるなかで
今回は、江戸の庶民の贅沢鍋をご紹介します。

ネギマ鍋のアレコレ



昔、マグロのトロは捨てられていた？

「ネギマ」といえば、鶏肉と鶏肉の間にネギを挟んで焼く、焼き鳥をイメージされると思います。

しかし、時代をさかのぼって江戸時代の「ネギマ」といえば「ネギ」と「マグロ」の鍋のことを指します。

江戸時代の頃は、マグロが安価でした。しかも脂の多い部位の「トロ」は江戸っ子の口に合わなかったのか、捨てたり肥料にされていたそうです。私たちからするともったいない話ですよ。

そんなマグロの脂の多い部分と、身近な野菜のネギを使い、塩や醤油で味付けした汁に食べたい分だけ入れて食べるのが「ネギマ鍋」です。これがとても美味しくて江戸庶民の冬の定番鍋になったそうです。

昔と今で価値が違うという話にはつい食指が動いてしまいます。

美味しく食べて健康に

ネギとマグロは血液さらさらコンビ！

ネギの辛み成分アリシン（硫化アリル）は、根深ネギに多く含まれる成分です。食欲増進作用、胃のもたれを防ぎ消化を促進させる作用、体を温める血行促進作用などがあるとされています。

マグロには、動脈硬化を予防する EPA や脳の活性化に役立つ DHA が豊富に含まれているほか、抗酸化物質のセレンと抗酸化ビタミンのビタミン E が含まれています。

ネギとマグロのネギマ鍋は健康的に冬の体を温めてくれる料理なのです。



主役にも引けを取らないネギの活躍

江戸時代食べられていた鍋の多くには、根深ネギが入っていました。

寒くなって木枯らしが吹く頃に甘みをます白くて太い根深ネギは、青ネギを冬場の低温と乾燥から守るために葉の下部分に土をかけ保護したことで、白く軟化してできたといわれています。

ネギだけ入れる鍋もあったそうです。本当に美味しい食材だからうまれた鍋なのでしょうか？「ネギ」オンリーのシンプル鍋、この冬試してみたいかな。



触れる

東京 23 区には様々な、見学・体験ができる施設やお店が沢山あります。

技法、技術など興味深い体験講習をご紹介します。

銀工房こじま

北区 / 体験



「伝統を基盤に現代にも即した生きた工芸で世界に貢献する」を理念に、江戸から受け継ぐ技術で、かんざし、帯止め、和風アクセサリなどの銀細工を手掛ける工房です。一貫した手作業にこだわり、地金を切り出すことから発色させる「色あげ」という作業まで全て行います。当主の小島功氏は平成 24 年東京マイスターを受賞。



住 所：東京都北区東十条 5-15-5
営業時間：9:00～18:00 定休日：土・日曜・祝日
T E L ・ F A X : 03-3902-0816
H P : <http://www.ginkouboukojima.jp>
体験可能日：水・土曜 13:00～16:00 事前予約必要
アクセス：JR 京浜東北線 東十条駅 徒歩 9 分

体験①「リング」1回コース

銀の平らな板をたたいて曲げ、丸めます。金槌で槌目を出し、自分好みの質感にしたのち、ロウづけし、自分の指のサイズに整え仕上げます。

料金：1回 1800 円* 所要時間：2 時間程度
定員：3 名まで ※銀で製作の場合は別途材料費がかかります。

体験②「根付け」2回コース

銀の平らな板からモチーフを切り出し、根付を作ります。(デザイン持ち込み可) 1 回目は真鍮を用い、糸のこの練習を行います。2 回目は銀を用い、作品を作ります。

料金：1回 2000 円* 所要時間：1回につき3時間程度
定員：3 名まで ※銀で製作の場合は別途材料費がかかります。

見学・体験をするにあたってのお願い

- 事前予約が必要な場合は、必ず予約をお願いします。
- 無断や直前のキャンセルは、ご遠慮ください。
- 安全に留意し、マナーを守ってご利用ください。
- 衣服が汚れることがありますので、作業しやすく汚れてもいい格好かエプロンなど持参してご参加ください。
- 掲載内容に変更がある場合がございます。詳しくは各店舗へお問い合わせください。

江戸べっ甲田中

台東区 / 見学・体験



100 年継承の江戸べっ甲師。希少価値の高いべっ甲を、三代目がメガネフレームを中心に、製造・販売・修理をしています。ウミガメの甲羅を材料とし、ひとつひとつ手作りで仕上げます。「ものづくり日本」の発展を目指し、修学旅行生や一般の方々にも見学、体験教室を開催しています。当主の田中淳功氏は平成 24 年東京マイスターを受賞。

住 所：東京都台東区谷中 3-22-8
営業時間：10:00～17:00 定休日：日曜、他 不定休
T E L ・ F A X : 03-3828-9870
H P : <http://tanakabekko.jp>
体験可能日：事前予約必要 アクセス：JR 西日暮里駅 徒歩 4 分

体験

簡単なアクセサリ作りを行います。甲羅から糸のこで形を切り出し、やすりで成形、表面の傷を取り除き滑らかにします。磨き工程でさらに光沢を出していきます。(製作一例) 所要時間：2 時間程度
定員：6 名程度
料金：3000 円～(学生は 2000 円)

ジュエリー工房株式会社フィゴ

目黒区 / 見学



日本に古くからある飾りの技術、装剣金工技術、西洋式の装身具製作技術などの技術を融合させ、技術的に幅広いジュエリーを製作しています。「質の高いものを低価格で提供する」をモットーに一点一点丁寧に作り上げます。修理、外国製ジュエリーの補修、オーダーメイド品も承ります。

住 所：東京都目黒区緑が丘 3-8-8
営業時間：9:30～18:00 定休日：日曜・祝日
T E L : 03-3729-2082 F A X : 03-3729-2084
H P : <http://www.fi-go.com>
見 学：事前予約必要
アクセス：東急大井町線 緑が丘駅より徒歩 5 分

見学

黄綬褒章を授章している名工が 2 名在籍する当工房。「こんな仕事もあるんだということを知ってほしい」という代表の坂元二郎氏の思いから、実際のジュエリーの製作工程を間近に、分かりやすい解説とともに見学できます。所要時間：30 分程度



<http://www.research.tokyo-23city.or.jp>

〒102-0072
千代田区飯田橋 3-5-1 東京区政会館
電話 / 03-5210-9051
交通 / 東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5 出口すぐ
JR 中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩 5 分



「ONE23(ワン・ツー・スリー)」(冬 vol.11)
2013 年 1 月 1 日発行
発行 / (公財) 特別区協議会 事業部
企画編集・デザイン / 株式会社アートプレスト・株式会社 YDS
印刷 / 株式会社キタジマ